APT-050S

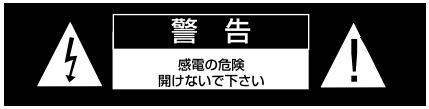
947/M/1

取扱説明書

PORTABLE DVD PLAYER

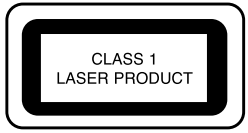
セントレードM.E株式会社
〒110-0016　東京都台東区台東1丁目24番9号
お客様サービスセンター
営業時間：9：30～15：30
（土・日・祝日・弊社休日を除く）
TEL：（03）3834-3631
FAX：（03）5688-1578

安全に関するご注意



この三角形に光る矢印の表示は、本製品が「危険な電圧」にまで達し、感電の危険が想定されることを示しています。

この三角形に感嘆詞の表示は本体の重要な操作とメンテナンス（修理）の指示があることを示しています。



この製品はFCCルールの第５部に準じています。操作は次の二つを条件としています。
(1) この製品は障害が発生しないと想定される。
(2) この製品は受信障害が発生する可能性がある。それによって好ましくない操作が発生する場合も含まれる。

警告：火事や感電の危険が高いため、雨または湿気に本体をさらさないでください。また、キャビネットの内部は危険な高電圧なので、サービス員以外の方は絶対に開けないでください。

注意：再生中、ディスクは高速で回転しているため、絶対に本体を持ち上げたり、動かしたりしないでください。ディスクに損傷を与える可能性があります。

注意：このDVDプレーヤーはレーザーシステムを採用しています。プレーヤーのふたを開ける前にシャットダウンされているか確認してください。開いていたり、インターロックが破損している場合、レーザー光が見えます。ここに書かれている以外の方法でコントロールや付属品を使ったり、処置を行うと危険な放射線が漏れる可能性があります。

安全に関するご注意

絶対にレーザー光を見つめないでください。
本製品を正しくお使いいただくために、本書をよく読んであとで参照できるようにご留意ください。万一メンテナンスが必要な際には、メーカーやサービスセンターなどにお問い合わせください。サービス員以外の方はふたを取り外さないでください。

FCC（Federal Communications Commission 連邦通信委員会）の注意：
本装置はテストにより、クラスBデジタルデバイスの範囲内での使用に対応しています。FCCルールの第15部に準じています。これらの範囲は住宅での設置の際に起こりうる電波障害への保護ができるように設計されています。

本装置は無線周波数を使うため、本書に従って設置、ご利用になられない場合、ラジオの通信に悪影響を及ぼすことが想定されます。しかし、ある特定の設置に対して必ず影響が起こるというわけではありません。ラジオやテレビの受信に影響を及ぼしているかどうかは、本体の電源をつけたり、消したりするとわかります。以下の方法のいずれかで障害をなくすことができるか試してみてください。

ー受信のアンテナ方向、または置き場所を変更する。
ー本体と受信機の置き場所を離す。
ー本体と受信機は別のコンセントを使う。
ー販売店や経験のあるラジオ・テレビの技術者に問い合わせる。

FCCの注意：
保証は正しいご使用（例、コンピューターや周辺機器に接続する場合は保護ケーブルを使用）をされている場合に限ります。修理や改造は一切認められません。その場合は、ユーザー保証は無効となります。

バッテリーに関する警告：
このDVDプレーヤーはNiMH バッテリーを採用しています。
バッテリーの取り扱いを誤ると火災や火傷の危険があります。絶対に分解、粉砕、破裂、充電不足状態での外部への接続または火や水に近づけないで下さい。バッテリーパックを開けたり、修理しないでください。バッテリー交換の際には必ず同じ種類のバッテリーをご使用ください。古くなったバッテリーはメーカーの説明に従って処分してください。

安全に関するご注意

注意：ここに書かれている以外の方法でコントロールや付属品を使ったり、処置を使うと危険な放射線が漏れる可能性があります。

本書をよくお読みになり、いつもご覧になれるように保管してください。以下は、ご使用になる前に知って、注意していただきたいことです。

1. 安全にお使いいただくために、ご使用になる前に必ず本書をお読みください。

2. あとで参照できるように、本書の安全と操作の説明を留意してください。

3. 本製品とご使用に関するすべての警告を守ってください。

4. すべての操作やご使用は本書に従ってください。

5. 掃除の前にプラグを抜いてください。液体洗剤やシンナーは使わないでください。掃除用のやわらかい布で拭いてください。

6. 災害の原因になりますので、メーカーの推奨していない付属品は使わないでください。

7. 本製品を水のそばで使用しないでください。（例　お風呂場、洗面所、台所の流し、洗濯機置き場、湿気の多い地下室、プールの近くなど）

8. 本製品を不安定な荷台、台、三脚台、張り出し棚やテーブルに置かないで下さい。本体が落ちると子供や大人に傷害を与えたり、本体が破損する原因となります。メーカーが推奨する荷台、台、三脚台、張り出し棚やテーブルもしくは、本製品と一緒に販売されているものをご使用ください。本製品を据え付ける場合は、メーカーの説明に従って、メーカーが推奨する付属品をご使用ください。

安全に関するご注意

9. 本製品と荷台を取り付けて動かす際には取り扱いに注意してください。突然に止まったり、強い力を加えたり、平らでない場所は転倒する原因になります。

10. スロットやキャビネットのすき間は風通しをして、本製品の操作の安定性向上と本体の過熱を防ぐためですので、すき間が塞がれたり、覆われたりしないようにしてください。すき間がベッドやソファー、ラグのような表面のものに覆われないようにしてください。風通しに適した状態か、メーカーの説明が守られる状態でなければ、本体を本棚やラックのような備え付けの場所に置かないでください。

11. 使用時にはご家庭でご利用になっているタイプの電源をお使いください。ご家庭でお使いの電源のタイプがわからない場合は販売店もしくはお近くの電力会社までお問い合わせください。本製品はバッテリー電源を使いますが、他の電源についてはご使用方法をご参照ください。

12. 電源コードは踏まれたり、上にものを置いて挟まれたりしないように配線してください。プラグにコンセントをつないだ部分と本体につないである部分には特に注意してください。

13. 本製品には過負荷の保護のために付属のプラグがついています。これは安全上のためです。保護装置の交換や再度取り付けの際には本書をご参照ください。プラグの交換が必要な際は、メーカーが指定しているプラグかそれに準じたプラグをご使用になるようにサービス技術者にご確認ください。

14. 本製品を屋外アンテナやケーブルに接続する場合は、アンテナやケーブルが電圧の上昇や備え付けの充電源に対応しているかどうかを確認してください。ナショナルエレクトリカルコード（電子法）ANSI/NFPA　70の810条に、マストの適した設置、組み立て方、アンテナ放電ユニットから受信機までのワイヤーの設置、伝導体のサイズと設置、アンテナ放電ユニットの設置場所、電極の接続とそれに必要な条件について規定されています。番号131.　1.　をご参照ください。

15. 本製品を保護するために、雷雨の時や長くご利用にならない場合は、コンセントを抜いて、アンテナやケーブルの接続はしないでください。雷や電圧の上昇による本体への損傷を防ぎます。

16. 屋外アンテナシステムは高架電線か他の電線や電気回路、もしくは電線のように電気が使えるものの近くに設置してください。設置の際には、電線や回路に接触しないように十分ご注意ください。接触すると生命の危険がともなう可能性があります。

17. 壁のコンセント、延長コードなどへの負荷をかけすぎますと、火事や感電の危険があります。

18. 本製品のすき間からどんな異物も押し込まないで下さい。危険な電圧の部分に触れたり、部品を壊したりするかもしれませんので、火事や感電の危険があります。絶対にどんな液体も本製品にこぼさないでください。

19. 本製品の解体、修理はおやめください。危険な電圧の発生などの可能性があります。修理に関してはすべてサービス員にお問い合わせください。

20. 以下のような状況の場合、電源プラグをコンセントから抜いてからサービス員にお問い合わせください。
    a 電源コードやプラグに損傷があるとき。
    b 本体に液体がこぼれたり、物が落ちたとき。
    c 本体が水や雨でぬれてしまったとき。
    d 説明書に従って操作をしても、製品が正常に作動しないとき。本書で説明されている操作に対しては調整できますが、その他の不適切な操作を行うと故障の原因となり、技術者の修理に時間がかかることがあります。
    e 本体を落としたり、損傷があったとき。
    f 操作においてあきらかに異常があったときなどは修理が必要となります。

安全に関するご注意

21. 部品の交換が必要な際には、サービス技術者にメーカーが指定している部品、もしくはそれに準じたものを使用しているか確認してください。認定されていない部品の交換は火事や感電などの危険があります。

22. 本製品のサービスや修理を完了したら、正常に操作が行えるかサービス技術者に安全点検をご依頼ください。

23. 本体は暖房機やその通風調節装置、ストーブ、その他の熱を発する製品（アンプを含む）から離して置いてください。

24. 12V以下の電圧では充電できません。

はじめに

新しいAPT-050S ポータブルDVDプレーヤーはすべての種類のディスクに対応しています。どこでも映画や音楽を楽しめるようにコンパクトにデザインされ、持ち運びも簡単です。本製品は最新のデジタルオーディオ／ビデオ（AV）テクノロジーにも対応しており、音声や映像の鑑賞が最大限に楽しめます。

また、本製品はCD、WMA、 MP3にも対応しています。また、Sビデオの出力（より鮮明な映像）、ラージアクティブLCDスクリーン、ペアレンタルコントロール（子供がふさわしくない内容を見ないために）、Kodakピクチャー CDとの互換性（テレビで写真を見ることができるように）などにも対応しているのが特徴です。まさにマルチメディアの世界を十分に堪能できる製品です。

はじめに

準備
最初にポータブルDVDプレーヤーの箱の中身をご確認ください。

ポータブルDVDプレーヤー	1
オーディオケーブル	1 組
S-ビデオ　ケーブル	1
ビデオ＆コアキシアルケーブル	1 組
NiMH　バッテリーパック	1
リモコン	1
電源アダプター	1
電源コード	1
シガレットライターアダプター	1
取扱説明書	1
ヘッドフォン	1

万一、添付品が足りなかったり、破損していた場合は、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

プレーヤーを移送する際に使う可能性もありますので、梱包材は保管してください。

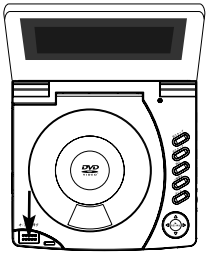
警告：
本製品の分解・改造を禁止します。分解・改造した場合、一切の保証は無効となります。

目　次

安全に関するご注意 1-6
はじめに 7-8
目次 9
クイックスタートガイド 10-11
テレビに接続するには 12-13
オプション機器に接続するには 14-17
ディスクの再生 18-21
KODAK ピクチャーCDの再生 22-23
JPEGの再生 24-25
WMA/MP 3の再生 26
他のタイトル/チャプターやトラックに移動するには 27
リピート再生 28-29
プログラム再生 30-31
ズーム 32
サブタイトル（字幕）を選ぶには 33
スクリーン表示を使うには 34
カメラアングルを選ぶには 35
ペアレンタルロックを設定するには 36-37
AFFとは 38
充電式バッテリーの取り付け方と使い方 39-40
バッテリーの保管 41
初期設定 42-43
故障かなと思ったら 44
保証について 45-46

1. 外部電源に接続する
電源アダプター（プレーヤーと同梱のもの）を側面の入力端子差込口とコンセントに接続してください。

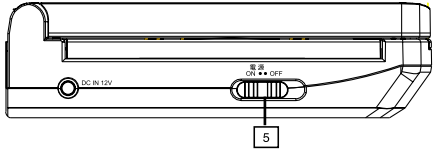
2. 保護カバーを開ける
カバーは最大135°までしか開かないのでそれ以上は開けないでください。



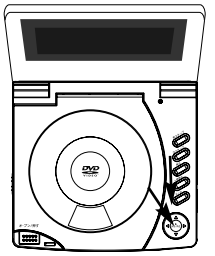
3. 左側のオープン/押すボタンを押して、ディスクカバーを開ける

4. DVDディスクを入れる
ディスクガイドの中心にDVDディスクの中心が合うように位置を調整してください。
“カチッ”という音がするまでDVDを軽く押してください。そして、ディスクカバーを閉じてください。

5. 側面の「電源スイッチ」を「ON」にスライドさせる



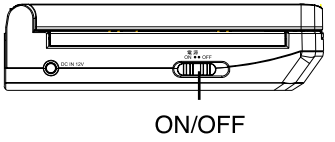
6. プレーヤーの表面にある決定/再生を押す
通常、DVDが挿入してある場合、電源がオンになると自動的にスタートします。



DVDプレーヤーはすぐにDVDのプログラムを読み込み始めます。
停止したい時は、停止ボタンを押すと電源オンのロゴ画面に戻ります。電源を切りたい時は、ON/OFFスイッチを右にスライドしてください。

⚠

DVDプレーヤーはスクリーンセーバーモードになってから三分後に自動的に電源が切れます。リセットするためには「電源スイッチ」を一度「OFF」にしてから、「ON」にスライドしてください。



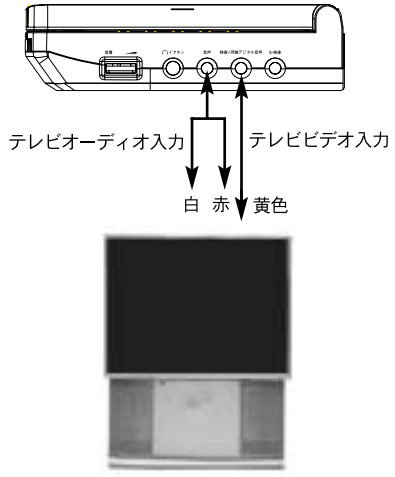
ON/OFF

テレビに接続するには

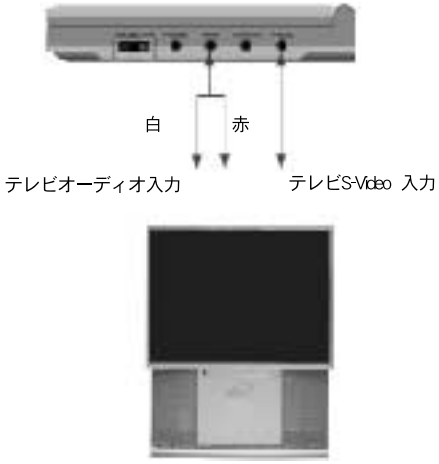
プレーヤーの設定

ステップ 1：オーディオケーブル（赤、白）をDVDプレーヤーの音声出力に接続する
ステップ 2：黄色いピンク色ケーブルクラブ端子をプレーヤーの側面にある映像／同軸デジタル音声端子に接続する（S-Video入力対応のテレビの場合は以下の「S-Videoの接続方法」の図に従ってください）

通常の接続



S-Videoの接続方法



テレビにS-Video入力がある場合は、DVDビデオプレーヤーとオプションのS-Videoケーブルで接続してください。S-Videoケーブルを使う場合、黄色いビデオケーブルを接続しないでください。

⚠

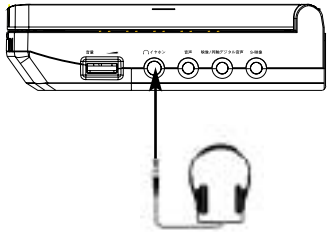
接続をする前に電源を切ってコードはコンセントと差込口から抜いてください。

オプション機器へ接続するには

ヘッドフォンの接続

1. ヘッドフォンを接続します。
   3.5mmステレオプラグヘッドフォンが使えます。

2. ダイアルをまわして音量を調整してください。



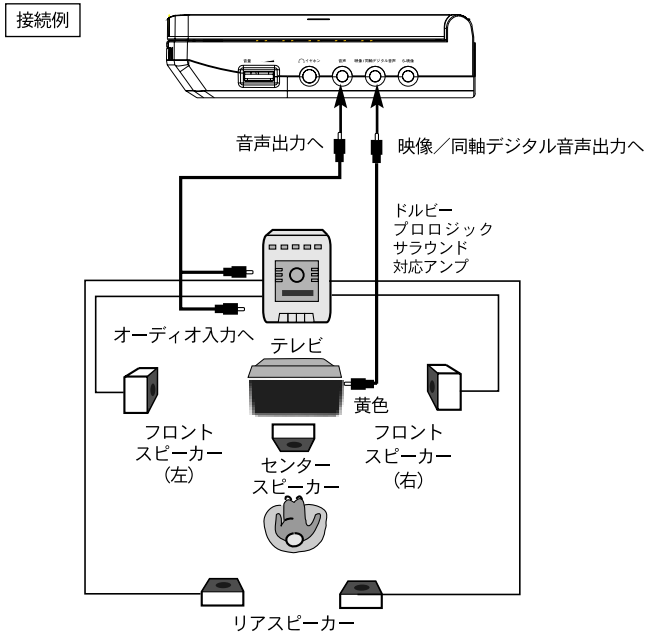
⚠
最大音量は耳に悪い影響を及ぼす可能性がありますので、避けましょう。

ドルビープロロジックサラウンドサウンド（GOOD）を楽しむ

ドルビープロロジックサラウンド

アンプとスピーカーシステム（左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、リアスピーカー）を接続してダイナミックでリアリスティックなドルビープロロジックサラウンドを楽しめます。

接続例



オプション機器の接続するには

本製品の技術著作権はマクロビジョンコーポレーションと他の権利保有者によって保有され、米国の特許資格と知的所有権により保護されています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションによる認可が必要です。そして、その使用はマクロビジョンコーポレーションの認可がある場合を除いて、家庭やそれ以外での限られた鑑賞にのみ認められています。改造や分解は禁じられています。

許可なく本書を複製したり、放送したり、公の場で上映したり、著作権のあるマニュアルを借りたりすることは法律で禁じられています。
DVDビデオディスクは複製保護されており、複製されると映像や音声が乱れます。

ドルビーラボラトリーの承認の元に製造されており、「Dolby」とダブルDシンボルはドルビーラボラトリーの商標です。機密未公表製品。
©1992-1997 Dolby Laboratories,Inc. All rights reserved.

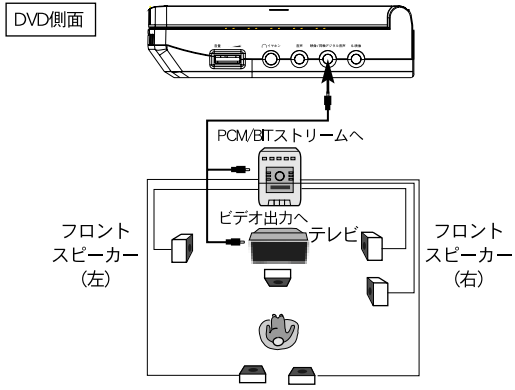
「DTS」と「DTS Digital Out」はデジタルシアターシステム社の商標です。

⚠
スピーカーの損傷を防ぐためにレシーバーは適度な音量にしてください。
DVDプレーヤーを接続するとき、または接続をやめるときはスピーカーの損傷を防ぐためにアンプの電源を切ってください。

ドルビーデジタルまたはDTS（BETTER）を楽しむ

ドルビーデジタル / DTS

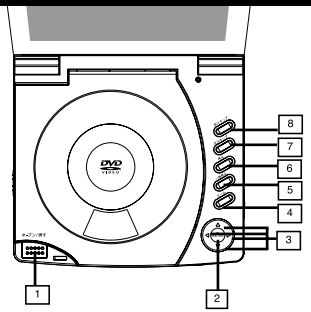
ドルビーデジタルとDTSプログラムは5つの全音域チャンネルと6つの低音用サブスピーカーを使ってサラウンドサウンドを提供します。ドルビーデジタルシステムでDVDを楽しめます。必要な準備はDVDプレーヤーとドルビーデジタル/DTSレシーバーまたは外部デコーダー付ドルビーデジタルレディーレシーバーを接続するだけです。



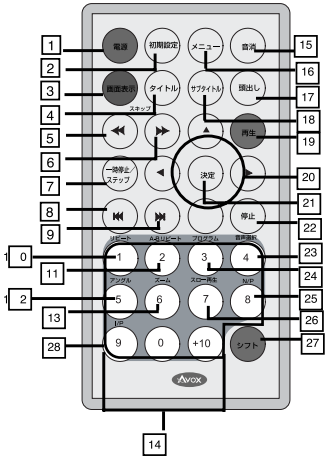
設定メニューから「初期設定」のなかの「SPDIF/PCM」を「SPDIF出力」に設定してください。

ディスクの再生

再生のための基本操作



1. オープン／押す
2. 決定／再生
3. 方向キー
4. ズーム
5. 一時停止
6. 停止
7. 次スキップ
8. 前スキップ



1. スタンバイ
2. 初期設定
3. 画面表示
4. タイトル
5. スピード再生（前）
6. スピード再生（次）
7. 一時停止／ステップ
8. 前スキップ
9. 次スキップ
10. リピート
11. 指定リピート
12. アングル
13. ズーム
14. 番号
15. 消音
16. メニュー
17. 頭出し
18. サブタイトル
19. 再生
20. 方向キー（上/下/右/左）
21. 決定
22. 停止
23. 音声選択
24. プログラム
25. スロー再生
26. シフト
27. AFFボタン

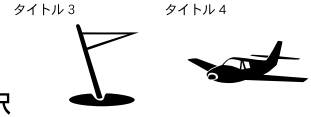
注：ナンバーキーを兼ねたリピート、指定リピート、プログラム、音声選択の各キーをご使用になりたい場合は、シフトキーを押してからそれぞれのキーを押してください。また番号キーとしてのご使用に戻したい場合は、再度シフトキーを押してください。

ディスクの再生

メニュー画面から再生するには

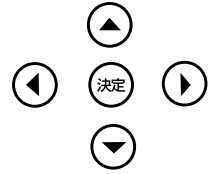
1. タイトル／メニューを押してメニュー画面を表示する

2. ∧/∨/＜/＞ または番号ボタンを押してタイトルを選択する



3. 再生／決定ボタンを押すDVDビデオプレーヤーは選択されたタイトルから再生をはじめます。

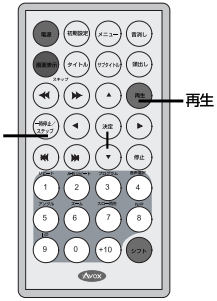
注：選択したタイトル番号を直接指定して入力することもできます。



一時停止するには

再生中に一時停止／ステップを一度押す。再生中に繰り返して一時停止／ステップを押すと一度につき１フレーム前に進む。再生ボタンを押すとノーマル再生に戻る。

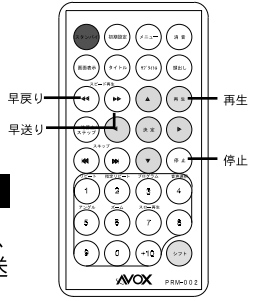
ステップ再生中は消音になります。MP3CD、オーディオCD、ピクチャーCDにはステップ機能はありません。



ディスクの再生

再生を停止するには

停止ボタンを押す
プレーヤーは停止します。



高速早送りと巻き戻し

ディスク再生ではノーマル再生の２倍速、4倍速、8倍速、 16倍速、32倍速の高速早送りと巻き戻しができます。

▶▶2x ➔ ▶▶4x ➔ ▶▶8x ➔ ▶▶16x ➔ ▶▶32x ➔ ▶

◀◀2x ➔ ◀◀4x ➔ ◀◀8x ➔ ◀◀16x ➔ ◀◀32x ➔ ▶

再生中に巻き戻しまたは早送りボタンを押す
再生スピードはノーマル再生の2倍の速さになります。巻き戻しまたは早送りボタンを押すごとに再生スピードは変わります。

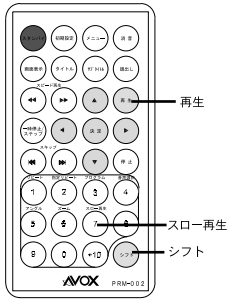
> ノーマル再生に戻るときは再生ボタンを押してください。
>
> 再生

注：
この機能が使えないDVDディスクもあります。

スロー再生

ディスクをスロー再生できます。

1. スロー再生ボタンを使うためにシフトを押してシフトオンにする



テレビ画面

▶ 1/2 ➔ ▶ 1/4 ➔ ▶ 1/8 ➔ ▶ 1/16

1/2 ノーマル スピード　1/4 ノーマル スピード　1/8 ノーマル スピード　1/16 ノーマル スピード

◀ 1/2 ◀ 1/4 ◀ 1/8 ◀ 1/16 ▶

2. 再生中にスロー再生ボタンを押す
再生スピードはスロー再生ボタンを押すごとに、ノーマルスピードの1/2 1/4、 1/8 1/16と変わります。

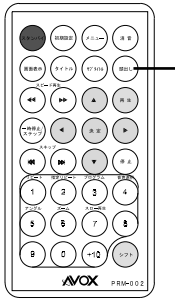
> ノーマル再生に戻るときは再生ボタンを押してください。
>
> 再生

⚠
巻き戻し、早送り、スロー再生ボタンで再生中は、消音になります。
この機能が使えないDVDディスクもあります。

KODAKピクチャーCDの再生

KODAKピクチャーCDが読み込まれると自動的にスライドショーがはじまります。指定しているディレクトリの写真がスライドショー形式で連続的に表示され、スクリーンに最大化されます。16のスライドショーモードがあります。「**頭出し**」キーを使って選択してください。**スライドショーの再生中でもそれぞれの写真に効果を設定できます**。

モード 1：上からのワイプ
モード 2：下からのワイプ
モード 3：左からのワイプ
モード 4：右からのワイプ
モード 5：左上からの対角線ワイプ
モード 6：右上からの対角線ワイプ
モード 7：左下からの対角線ワイプ
モード 8：右下からの対角線ワイプ
モード 9：中央Hからの拡張
モード10：中央Vからの拡張
モード11：中央Hへの圧縮
モード12：中央Vへの圧縮
モード13：ウィンドウH
モード14：ウィンドウV
モード15：両脇から中央へのワイプ
ランダム
注意



好きな画像をしばらく表示したいときは一時停止キーを押します。次の画像、もしくは一つ前の画像を表示したいときは ⏭ または ⏮ キーを押してください。スライドショーを続ける場合は**決定**キーを押してください。

画像の回転

変換には四つのモードがあります：「逆」「鏡」「左」「右」
操作は写真がノーマル表示されている場合のみ可能で新しい写真が表示されると自動的にキャンセルされます。矢印キーで変換モードを選択できます。

上　　-逆／ノーマル
下　　-鏡／ノーマル
左　　-左回転
右　　-右回転

注：この機能はズームモードでは行えません。

スライドショーの繰り返し再生

ピクチャースライドショーが終わると、画像は圧縮されてサムネイルサイズで表示されます。再びスライドショーを見るには ⏮ ボタンを押してください。

重要：
12枚の写真のサムネイルがすべて表示されてから、⏭ ボタンを押して次の12枚の画像を表示してください。最初に**決定**を押すと、ショーがはじまります。

メニュー

停止しているサムネイル写真を表示するためには**メニュー**キーを使います。圧縮されたサムネイル写真は12枚まで表示することができます。指定しているディレクトリから次の12枚や**その前**の12枚の写真を表示するには ⏭ や ⏮ を使います。
注：サムネイルスクリーンではメニューをハイライトして決定するとヘルプを使うことができます。

JPEGの再生

DVDプレーヤーではCD-Rに保存された写真を再生することができます。写真はJPEGファイル形式で保存されているものに限ります。JPEGに関する詳細はWWW.JPEG.COM　をご参照ください。

ＪＰＥＧファイルの再生

1. CDをディスクトレイにセットする

2. フォルダもしくはCDに保存されている写真を選択する

CDが読み込まれると、メニューがスクリーンに表示されます。上や下を押してフォルダを選択し、決定/再生を押してフォルダの内容を見ます。（下の図のように画面の右側に表示されます）

3. 再生

上や下を使って画像を選び、決定/再生を押して写真を見ます。写真はスライドショー形式で表示されます。表示方法の効果は、上からのワイプ（通常モード）、下からのワイプ、左からのワイプ、右からのワイプ、右上からの対角線ワイプ、中央Hからの拡張、中央Hからの圧縮、ウィンドウHなどたくさんの形式があります。**頭出し**ボタンでスライド形式を変更できます。

4. 画像の回転

スライドショー再生中に矢印キーを使って、画像を回転することができます。

上を押すと画像を逆にできます
下を押すと画像を鏡に映ったようにできます
左を押すと画像を左方向に回転できます
右を押すと画像を右方向に回転できます

5. ズーム

この機能を使うと写真を50％、75％、125％、150％、200％で表示することができます。ズームボタンを押してください。スクリーンメッセージ（**ズームオン**）が出て、選択肢が広がります。◀◀ や ▶▶ キーを使ってズームを拡大したり、縮小したりできます。ディレクションキーを使って、ズームするところを選択してください。**ズームオフ**を使うと写真をテレビのスクリーンに最大化することができます。

6. メニュー

再生中にメニューと押すとサムネイルメニューが表示されます。JPEGファイルのプレビューをするには再びメニューを押してJPEGフォルダに戻ってください。

自分だけの写真CDを作る

コンピュータを使って写真をJPEGフォーマットで保存し、CD-Rディスクに焼いてください。そうするとテレビで見ることができます。

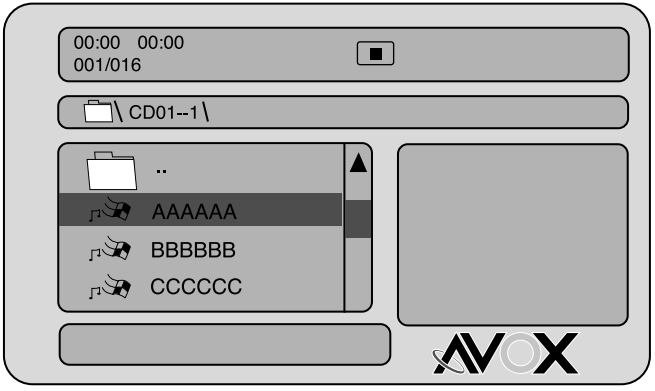
WMA/MP3の再生

WMAとは？

WMAは、WMAウェブサイトから録音再生が利用可能なM icrosoft社オーディオファイル用の新しいフォーマットです。圧縮された22時間までの音楽データをコンピュータからCD-R に録音して、DVDプレーヤーで再生することが許可されています。AVOXデジタルは家庭用DVDプレーヤーでWMAオーディオファイル録音された CD-Rディスクの再生機能を初めて採用した会社です。

MP3フォーマットの再生

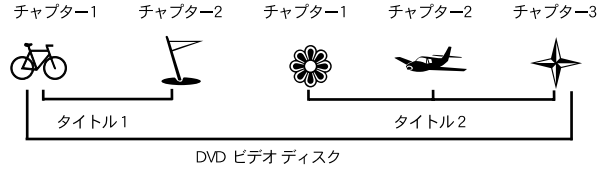
1. WMA CDを挿入すると、トレイが閉じて、DVDプレーヤーはディスクを初期化し、スクリーンのメニューにディレクトリ（フォルダ）が表示される
2. 上/下を押して選択すると、WMAファイル（ソング）がハイライトされる
3. 決定を押すとWMAファイルが再生される



注：WMAとMP3の再生方法は同じです 。

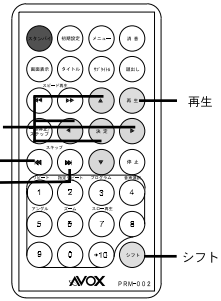
他のタイトル、チャプター、トラックに移動するには

DVDディスクは通常いくつかのタイトルに分かれています。それらのタイトルはチャプターに分かれます。その上に、CDやMP3はトラックに分かれます。



タイトルメニューを使ってタイトルに移動する

DVDビデオディスクにタイトルメニューがある場合、タイトルメニュー機能を使って好きなタイトルに移動できます。



1. **タイトルボタンを押す**
   LCDやテレビスクリーンにタイトルメニューが表示されます。
2. **▲▼ ◀ ▶ ボタンを使って好きなタイトルを選択する**
   数字のボタンを使って直接好きなタイトルに移動することもできます。
3. **再生ボタンを押す**
   選択されたタイトルのチャプター1から再生されます。

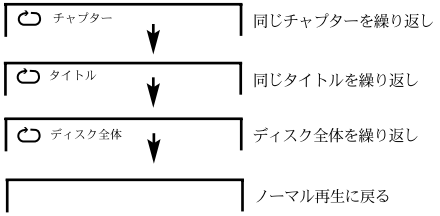
スキップボタンを使って好きなタイトルやトラックを選ぶこともできます：
好きなタイトルが表示されるまで ⏮ または ⏭ ボタンを繰り返し押します。

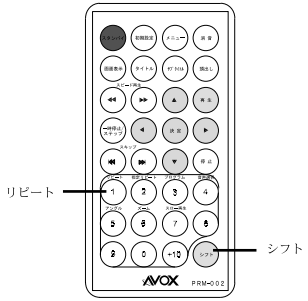
リピート再生

本DVDビデオプレーヤーは指定したタイトル、チャプター、トラックや範囲を繰り返し再生できます。(タイトルリピート、チャプター/トラックリピート、指定リピート)

タイトル、チャプターまたはディスクを繰り返し再生するには

ノーマル再生中にリピートボタンを押す（シフトオンに設定して）
リピートボタンを押すたびにリピートモードが変わります。



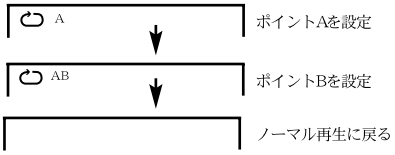


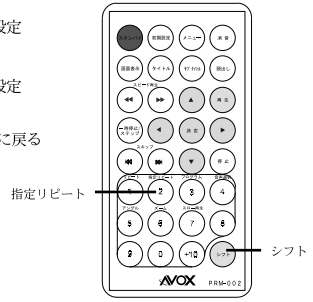
指定した範囲を繰り返し再生するには

1. 繰り返し再生したい範囲の開始位置で指定リピートボタンを押す
（区間繰り返し設定ポイントA）（シフトオンに設定して）

2. 指定したい範囲の終了位置で指定リピートボタンを押す（区間繰り返し設定ポイントB）
自動的にポイントAに戻って指定された範囲（A-B）を繰り返し再生します。

3. もう一度指定リピートボタンを押すとA-B区間繰り返し再生が解除されます
ノーマル再生に戻ります。

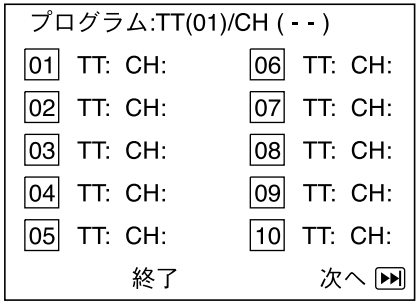




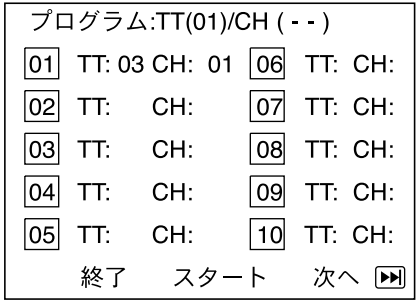
プログラム再生

タイトル、チャプター、トラックを好きな順番で設定するには

1. まずシフトボタンを押し、次にプログラムボタンを押す
   スクリーンにプログラムメニューが表示されます。
   プログラム：
   タイトル／チャプター

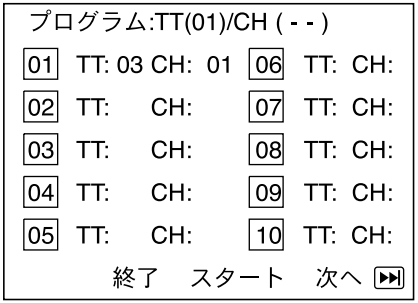


2. 数字ボタンを使って、タイトルやチャプターを選び、好きな順番にプログラムする
   選択されたタイトルやチャプターはプログラム設定として入力されます。



3. スタートを選択後、決定ボタンを押すとプログラム再生がはじまる

4. プログラムをクリアするにはカーソルを終了に動かして、確認してから決定を押す

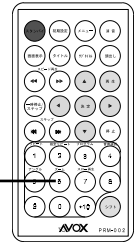


ズーム

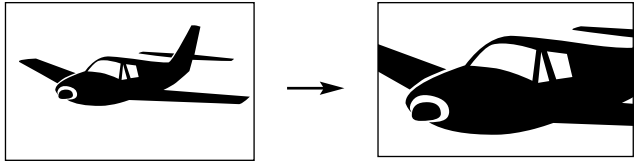
ズーム

ズーム機能では写真を拡大・縮小したり、ズームしたい位置を移動することができます

ノーマル再生中またはスロー再生中にズームを押す（ズームボタンを使うときはシフトを押してシフトオンに設定する）



写真の中央が拡大化されます。ズーム再生中に ▲ ▼ ◀ ▶ を押すと、ズームしたい位置を移動できます。



2x → 3x → 4x → ノーマル再生

4×ズーム時にもう一度ズームを押すと、ズーム機能が解除される

サブタイトル（字幕）を選ぶには

サブタイトル（字幕）を表示するには

DVDビデオディスクにサブタイトル（字幕）が含まれる場合は、好きなサブタイトル（字幕）を選ぶことができます

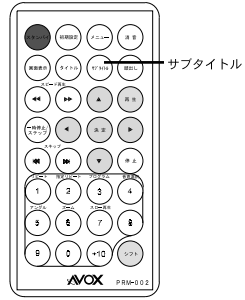
再生中にサブタイトルボタンを押す

サブタイトル 1 ⬇ 01/03

サブタイトル 2 ⬇ 02/03

サブタイトル 3 ⬇ 03/03

サブタイトル オフ



サブタイトル（字幕）を消すには

サブタイトル再生中にサブタイトルが消えるまでサブタイトルを押す

サブタイトル オフ ⬇

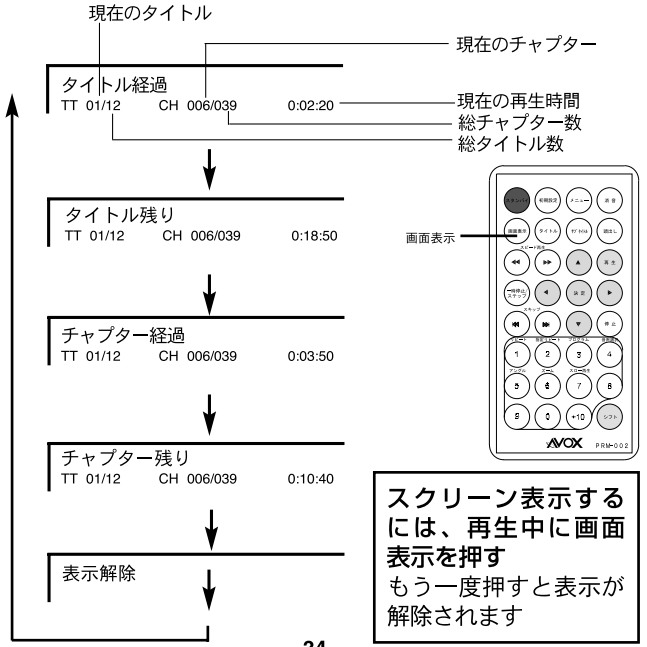
スクリーン表示を使うには

操作状態やディスク情報をテレビのスクリーンに表示することができます

操作状態を確認するには

テレビで以下の項目を表示できる機能です。

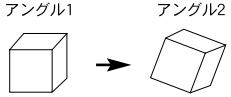
-現在のタイトル
-トラック番号
-全体の再生時間



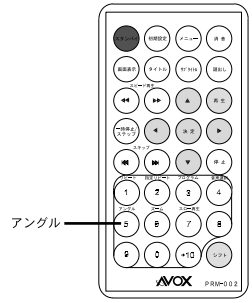
スクリーン表示するには、再生中に画面表示を押す
もう一度押すと表示が解除されます

カメラアングルを選ぶには

このDVDプレーヤーではいろいろな角度からの再生を選ぶことができます



カメラアングルを選ぶ

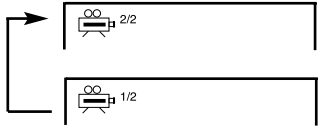


カメラアングルを変更するには

DVDビデオディスクにマルチアングル機能がついている場合、見ている場面のカメラアングルを変更することができます。

マルチアングル機能がある場面の再生中にアングルボタンを押す

アングルボタンを押すだけでアングルアイコンがDVDの画面に点滅します
したいアングルに一致する番号を押します



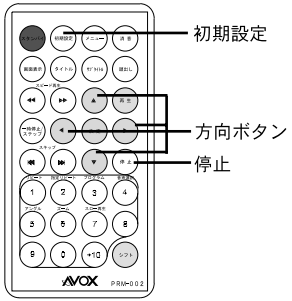
⚠ マルチアングル機能がないDVDビデオディスクではこの機能は使えません。

ペアレンタルロックの設定

ペアレンタルロック機能がついているDVDビデオディスクでのみ使用できる機能です。

ペアレンタルロックを設定するには

ペアレンタルロック機能がついているDVDビデオディスクはその内容に応じて年齢視聴の制限がされています。ペアレンタルロックによる制限とDVDビデオディスクで制限する方法で、内容はディスクによってさまざまに編集できます。例えば、ディスクが対応していれば、お子様に見せたくない暴力場面を編集で消去したり、より適した場面に差し替えたり、ディスクが再生される間ずっとロックすることができます。



1. 再生中に停止を押す

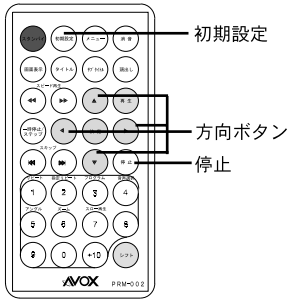
2. 初期設定を押す
スクリーンに設定メニューが表示されます。

3 選択ページを選択し、決定を押す

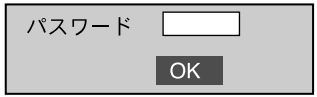
4. ペアレンタルを選択して、決定を押す

5. 視聴制限を選択して、決定を押す

1 KID SAFE
2 G
3 PG
4 PG 13
5 PGR
6 R
7 NC17
8 ADULT
OFF



6. パスワードを入力してから決定を押す
最初に設定されているパスワードは 3308 です



7. 初期設定を押すと設定が完了し、決定を押すとスタートする

パスワードの変更

1 パスワード変更するには以下の四つのステップに従います
2 旧パスワードを入力
3 新パスワードを入力
4 確認のために新パスワード再入力
5 決定を押す
6 初期設定を押して完了

AFFとは

AFFとは、Active Full-screen Function（アクティブ・フルスクリーン機能）の略称で、ワイドスクリーン形式対応のDVDを使用する際に、テレビ画面を最大限の大きさで表示することのできる機能です。アスペクト比1.85対1で映画を見る際、リモコンのAFFボタンを押すと、テレビ画面の上下にある黒色の帯が消えます。また、アスペクト比2.35対1で映画を見る際は、黒色の帯が最小化されます（ただし、完全に消えることはありません）。

AFF機能オフ

AFF機能オン

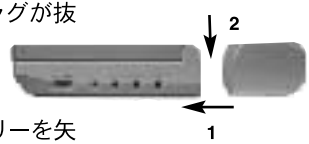
⚠

この機能は、一時停止および停止モードではご利用になれません。

充電式バッテリーの取り付け方と使い方

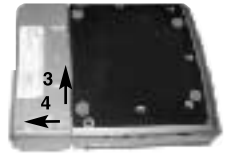
バッテリーパックの取り付けと取り外し

1. 本体の電源が切れているか、プラグが抜かれているか確認する
2. バッテリーパックを矢印1の方向に動かし本体の側面に取り付けます。カチッという音がするまでバッテリーを矢印2の方向に動かし本体に装着してください。



バッテリーパックの取り外し

1. 本体の電源が切れているか、プラグが抜かれているか確認する
2. バッテリーパックを矢印3の方向に引き出しながら、ラッチを4（本体の底）の方向にスライドさせてください。



ご使用とメンテナンス

付属のバッテリーは高品質の充電式バッテリー（NHMH）で、バッテリーの大容量に充電し品質低下の減退を実現しています。後者はある程度のバッテリー消費後の充電も可能ということです。

バッテリーにACアダプターを接続する
初めて使うときは十分に充電してください

充電式バッテリーの取り付け方と使い方

付属のバッテリーは約300回まで繰り返し充電できます。バッテリーを充電するには約5時間かかります。赤色のランプが点灯し、緑色のランプが点滅したら、約30分間充電を続けてください。フル充電すると約3時間ご使用になれます。消費電源はスクリーンの明るさや音量などの操作によって異なります。

バッテリー寿命を最大限にするためにタイミングよく充電してください。すでにフル充電されたバッテリーを再度充電しないでください。

完全にバッテリーがなくなったり、金属製の入れ物に保管したり、湿度の高い場所に置き去りにしたりしないでください。保管の際には、可能であれば密閉できる入れ物に保管してください。気温が10℃以下もしくは35℃以上になると充電の品質が低下し、消費が増えます。

バッテリーの保管

1.保管温度および保管湿度（短期間の場合）
湿度が低く(最大85％)、温度が20度～45度、腐食性ガスのないところに保管してください。湿度が極端に高い場所や、温度がー20度以下あるいは45度以上の場所では、バッテリーのメタリック部分が錆びるおそれがあり、有機素材で構成されている部分が膨張または収縮するため電解が漏れることがあります。

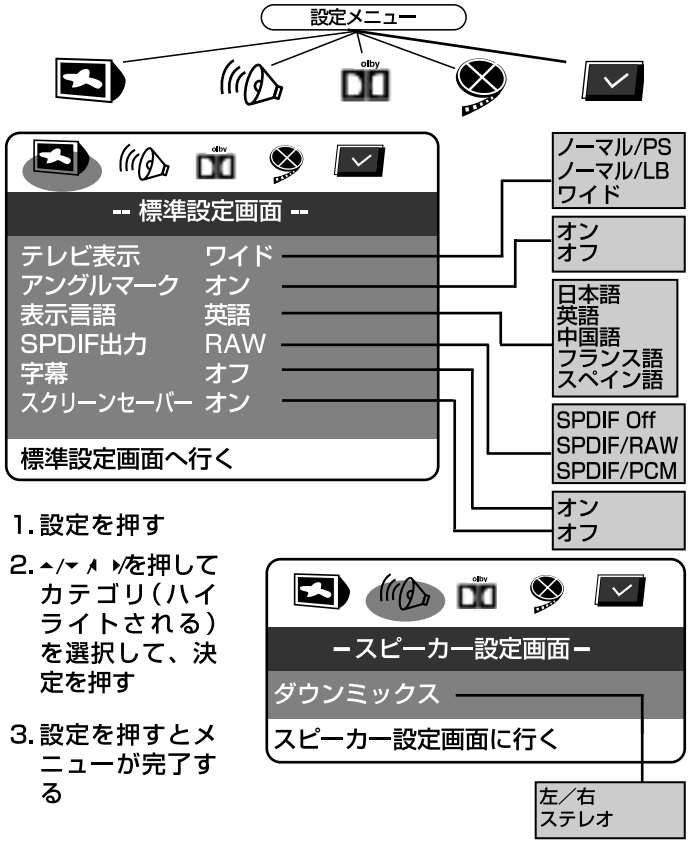
2.長期間保管する場合（2年間、温度がー20度～35度の状態）
長期間使用しないと、バッテリーが自己放電するため、反応物質が活性化しなくなります。長期間使用しない場合は、温度が10度～30 度の場所で保管してください。

長期間にわたって使用しなかったバッテリーを充電する時は、反応物質が活性化しなくなることによってバッテリーの電圧が上昇し、バッテリー容量が減少することがあります。バッテリーを購入時の性能に戻すには、充電と放電を数回繰り返してください。

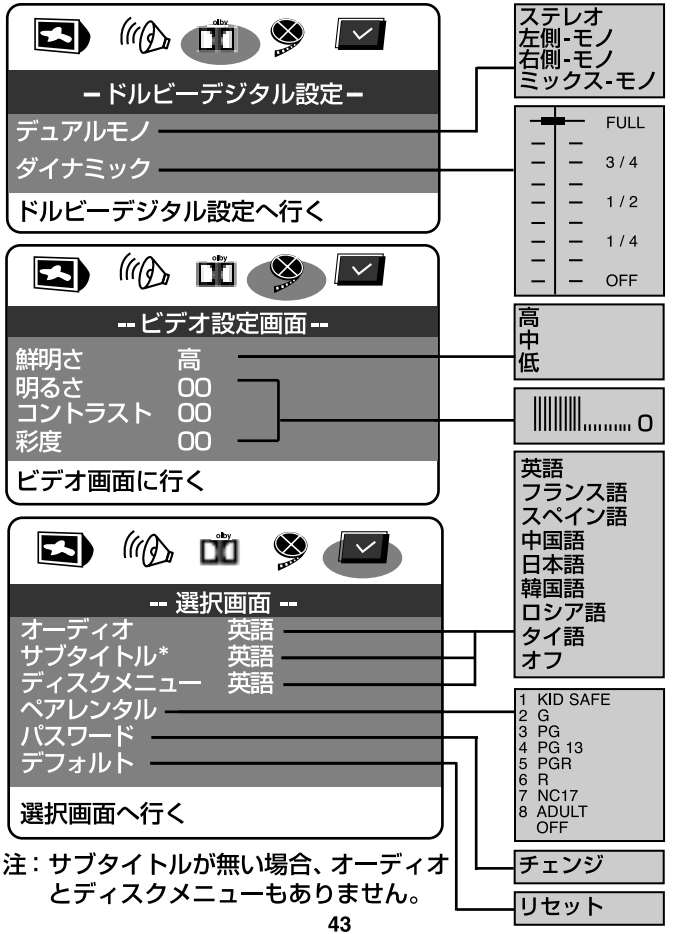
自己放電が原因による電流の漏れや性能の低下を防ぐために、バッテリーを1年以上使用しない場合でも、少なくとも1年に一回は充電を行ってください。電圧検知タイプの急速充電器の場合は、少なくとも半年に一回は充電と放電を行ってください。

注：
バッテリーの性能を維持するために、開封後最初に充電する際は、しかるべき条件下で、少なくとも12時間以上充電し、さらに放電と充電を少なくとも3回繰り返してください。

本品はお客様の好みで機能をカスタマイズできます。



1. 設定を押す
2. ▲/▼/◀/▶を押してカテゴリ（ハイライトされる）を選択して、決定を押す
3. 設定を押すとメニューが完了する



注：サブタイトルが無い場合、オーディオとディスクメニューもありません。

故障かなと思ったら

症　状	処　置
電源が入らない	・電源プラグをコンセントにしっかり接続する。
画像が出ない	・テレビで再生しているときは、テレビとビデオを接続しているオーディオ・ケーブル、ビデオ・テーブル、Sビデオ・ケーブルが確実に接続されているか確認する。
画像が歪む	・機体の背面にあるNTSC方式／PAL方式選択ボタンが、正しい位置にきているか確認する。
白黒の写真が出る	・Sコネクターの故障（ピンが折れ曲がる）。
プレイヤーが再生を始めない	・再生が可能なディスクを挿入してください（ディスクのタイプとカラーTV方式を確認する）。 ・ディスクの再生面を上にして、トレー上に正しく置く。 ・ディスクをきれいにする。 ・ペアレンタルロック機能を解除するか、ペアレンタルロック機能のレベルを変更する。 ・プレイヤーをリセットする